

北の志づめ

第217号

令和4年4月



開拓神社の一本桜

〈円山地域の生物〉 最後にひと花咲かせる **オオウバユリ**

北海道博物館
学芸員 水島未記氏

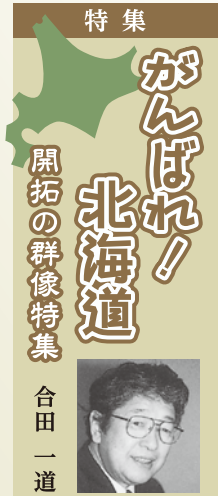
〈開拓の群像〉

アイヌ民族に種痘施す 桑田立斎

合田一道氏



島判官慰霊祭



歴史から見えるもの ⑤⑧

アイヌ民族に種痘施す 桑田立斎

いま世界は新型コロナウイルスの蔓延にうち震えています。徳川幕府が蝦夷地を直轄統治した安政年間にも、アイヌ民族の間に天然痘が激しい勢いで広まり、死者が続出する恐ろしい事態になりました。



桑田立斎肖像 (北海道大学付属図書館)

安政三年(一八五六)、箱館奉行として赴任した村垣範正は、これを目撃してすかさず幕府に、種痘医の派遣を要請しました。

幕府は町奉行に対して六人の医師の人选を命じましたが、行く先が遠く離れた蝦夷地というので、誰もが尻ごみする始末です。結局、桑田立斎と深瀬洋春という二人

の医師が選ばれました。

桑田は越後国(新潟県)生まれの四十七歳。江戸深川に小児科医院を開き、かたわら捨て子を養育する済幼院を設置して、救済活動をしていました。嘉永二年(一八四九)、オランダ医師により痘苗が長崎にもたらされると、ぜひ分けてほしいと願い出て、江戸の子供たち千人余りに種痘を施し、名医と噂されていました。

幕命を受けた二医師は安政四年(一八五七)春、江戸を出立し、蝦夷地箱館を基点に、桑田は太平洋岸を釧路まで、深瀬は日本海岸を留萌まで次々に巡回し、アイヌ民族の住む集落に立ち入り、強制的に種痘を施しました。

桑田の書き残した文書によると、一行は桑田のほか門弟の井上元長、西村文石、秋山元潭及び従者四人。それに痘苗児とその両親。痘苗児とは種痘をして発痘した子供を指します。当時はいまのように痘苗が自由に得られなかったので、子供から子供へと種痘し、発痘した子供を順々に連れて歩き、痘苗を採取していたのです。

樺太まで足を延ばして、種痘を実施しました。

当時のアイヌ民族の人口は一万八千人といわれ、種痘者数はほぼその数に近く、大半が種痘を済ませたと判断できます。その効果は目を見張るほどで、多くの病人が危うく命を救われました。

幕命とはいえ、自らの危険を冒してまでやり遂げた医師たちがいたとは。この巡回

種痘は江戸でも噂になり、幕府の壮挙と讃えられました。

箱館の豪商杉浦嘉七は、桑田を顕彰する意味から、アイヌ絵の大家、平沢屏山に「蝦夷人種痘之図」を描かせ、奉行の村垣に贈りました。大勢のアイヌ民族が種痘を受けるこの絵は、錦絵として江戸で売られ、大きな反響を呼んだといえます。

桑田は『牛痘発蒙』『三済私話』など多くの書物を残しました。三済とは牛と馬と貧しい子供を救うという意味。蝦夷地巡回種痘から帰った後は、アイヌ救済を追加して「十万児牛痘接種」を生涯の念願にしていたといえます。慶応四年(一八六八)、五十八歳で没。

もう一人の医師、深瀬はもともと箱館の人で、その後は箱館奉行所御雇医師として長く勤め、箱館医学所頭取へ。そして医学所から名を変えた函館病院に務め、函館会所前に医院を開業しています。

コロナ渦の現代、医療従事者の活躍ぶりを見るにつけ、時代を超えて病と戦う医師たちに、感謝の念が沸き立ちます。



牛痘発蒙(京都大学附属図書館)



三済私話(大阪大学適塾記念センター)

しかし衛生思想がまだ低い時代で、集落内に誰か一人が発病すると、アイヌの人たちは病人を残して山奥へ逃げ込みます。医師が病を直す種痘をすると告げても理解できず、医師はやむなく金品を与えて手なづけるなどして接種したといいます。多い時は一昼夜に二百人も三百人にもものぼったといい、不眠不休の医療行為でした。

翌年、立斎は休養して、門弟の井上元長が根室から千島まで巡回。また深瀬は



蝦夷人種痘之図(北海道大学付属図書館)

◆プロフィール◆
昭和九年(一九三四)、空知郡上砂川町生まれ。北海道新聞に入社し、道内各地を回る。在職中からノンフィクション作品を発表。『定山坊行方不明の謎』で北海道ノンフィクション大賞を受賞。退職後は札幌大学文化学部講師。著書は『日本史の現場検証』『人間登場』北の歴史を彩る『大君の刀』など。

オオウバユリ

北海道博物館

学芸員 水島 未記

春の森を散歩している時、写真のような植物を見たことはないでしょうか(①)。まだ緑が少ない季節ということもあり、艶のある葉がひととき目立ちます。オオウバユリです。円山の山裾などでよく見られます。



春先は地面から葉が出ていただけですが、その後ぐんぐん茎を伸ばし、七月に花を咲かせます(②)。ユリの仲間の中ではひ



ときわ背が高くなり、人の背丈を超えることもあります。秋になつて枯れる頃には、実が割れて籠のようになります。中にはたくさん種子がぎっしり詰まっています(③)。種子は薄くて軽いため、風が吹くとひらひらと舞い散ります。

でもじつは、茎を伸ばして花をつける株はごく一部。まわりにはそれよりはるかに



分を稼ぎ、澱粉として地下にある鱗茎に貯え、その養分で残りの数か月を生きのびるのです。そして春になると、前のシーズンに貯えた養分で新しい葉を伸ばします。葉を開ききる頃には養分をほぼ使い果たしていますが、前のシーズンより少しだけ大きな葉をつけることができ、その葉を使ってより多くの養分をつくることができます。そうやって、毎年少しずつずつ、成長していきます。

ある程度成長すると、葉の数も二枚、三

枚と増えていきます。最終的に五〜六枚の大きな葉をつけ、十分に養分が貯まると(⑤)、翌年に茎を伸ばして花をつけます。そこまで何年くらいかかるのでしょうか。地域や環境によって違うと考えられますが、筆者が苫小牧市内のある森で十年以上毎年追跡調査した際には、その間に発芽した株で開花に至ったものはひとつもありませんでした。つまり、花が咲くまでには十数年かそれ以上の長い時間が必要なようです。



多くの、花が咲かない株があります。発芽した年には長さ数センチの細い葉を一枚出すだけ(④)で、二年目以降には幅が広い葉を出しますが、いずれにしても茎がなく地面から葉だけが出ている姿です。①に写っているのはすべてそのような二年目以降の幼い株で、大きさがさまざまなのは成長段階が違うためです。

花をつけない株は、夏までには葉が枯れます。しかし、葉の根元にある鱗茎(球根)と根は生き残り、地面の下で翌年出す芽を用意しながら春を待ちます。林の中が明るい春から初夏の間に光合成して二年分の養



そして、オオウバユリは一度花を咲かせる枯れて死んでしまいます。毎年花を咲かせる植物の場合は、花や実をつけて子孫を残すことと、自分自身が成長して翌年まで生き残ることの両方に養分を使わなければなりません。オオウバユリの場合は、生まれてから長年花を咲かせないため、その間は毎年養分を貯えていくことができます。そして一生の最後に花をつけますが、その際には翌年まで生きる必要がないことから、それまで貯えた養分の大部分を使って、花を咲かせて実を結ぶことができます。森で見られるユリの仲間にしては異例なほど巨大な茎を伸ばし、たくさんの種子をつくることのできるの、そのような理由からなのです。

オオウバユリはアイヌ民族の重要な食料だったことが知られていますが、花が咲いた株を掘っても食べられる部分はありません。利用していたのは花が咲く前の株の鱗茎であり、中でも、翌年には開花する、という十分に栄養を貯めた株が最適ということがわかんると思います。

社頭風景

十二月～三月



- ❶ 元旦社頭
- ❷ 煤払い(12月26日)
- ❸ 餅つき(12月27日)
- ❹ 大鏡もち奉納(12月28日)
- ❺ 師走の大祓並びに除夜祭(12月31日)
- ❻ 元始祭(1月3日)
- ❼ 昭和天皇祭遙拝(1月7日)
- ❽ 古神札焼納祭(1月14日)
- ❾ 祈請祭(1月16日)
- ❿ 節分祭(2月3日)
- ⓫ 紀元祭(2月11日)

元旦

令和四年の元旦は昨年同様コロナ禍の中で迎えることとなりました。分散参拝の呼びかけや年末の縁起物等の先行授与を行うなど様々な感染症への対策をとり皆様のご理解ご協力のもと、三が日では約三十三万人の方々をお迎えいたしました。また、本年は露店商の皆様にもご出店いただくなど、昨年に比べ明るい雰囲気の中、新年を迎えることができました。午前七時には年始を寿ぐ歳旦祭を斎行し、神楽「四方拝」を奉奏いたしました。

大鏡餅奉納

令和三年十二月二十八日(火)もち米生産地の農協などで作る北海道もち米団地農協連絡協議会とホクレン農業協同組合連合会により、悪疫鎮静・五穀豊穡を祈り北海道産のもち米「はくちょうもち」で作られた三段百二十キロの大鏡餅が奉納されました。大鏡餅の奉納は六月十一日(金)の当宮例祭にあわせての奉納に続き二度目となります。

節分祭

二月三日(木)午後三時より節分祭を祈請講役員の参列のもと斎行いたしました。祭典では厄を切る難波神楽「剣の舞」を奉奏いたしました。例年は、祭典終了後神門内特設舞台にて豆打ち神事を斎行いたしておりましたが、新型コロナウイルス感染症への対策として、昨年に続き本年も豆打ち神事は中止となりました。

紀元祭

初代天皇であらせられる神武天皇が、橿原の宮で天皇の位にお登りになられた日である二月十一日を我が国では建国の日と定めています。この大業をしのび、北海道神宮では当日十時より紀元祭を斎行いたしました。感染症への対策の為、責任役員のみ参列のもとでの祭典となりました。祭典の中では新型コロナウイルス感染拡大防止の為「紀元節」を声を出さないよう心の中で唱和いたしました。祭典終了後、昨年初めて行われた山田起雲先生による記念揮毫が本年も参集殿にて行われました。

祈年祭

祈年祭は「としごいのまつり」とも呼ばれる祭典です。この「とし」とは古来稲を表す言葉であり、「年」を「請う」、豊穰を祈る祭典として神社では特に大切なものとされています。二月十七日(木)午前十時、北海道神宮においても名誉宮司以下責任役員参列のもと、海の幸山の幸を神前に供え、神楽「悠久の舞」を奏して厳粛に祭典を奉仕いたしました。



玉串を奉り拝礼

天長祭

北海道神宮では二月二十三日、天皇陛下の六十二歳の御誕辰を奉祝し、午前十時より天長祭を責任役員参列のもと斎行いたしました。祭典では神楽「浦安の舞」を奉奏した後、声を出さないよう心の中で「天長節」を唱和し聖寿の万歳を言祝ぎました。尚、一昨年開催された天長祭にあわせての新成人寒中禊会は、感染症への対策として昨年に続き本年も中止となりました。



浦安の舞

雛人形展

二月十日(木)より三月十五日(火)までの期間、祈祷者控殿において、山田祐嗣氏所蔵の雛人形と当別甲斐の会のおつるし雛の展示を行いました。



奉賛会だより

〈北海道神宮奉賛会〉

『大祭』並びに『総会』のご案内

奉賛会会員の「家内安全・心身健全・生業繁栄」を祈願する『大祭』と『総会』を左記のとおり開催を予定いたしております。案内につきましては別途発送させていただきますので、そちらをご覧ください。

◆日程

令和四年五月十四日(土)

午後一時三十分

『大祭』(本殿)

引き続き

『総会』(参集殿)

◆総会議事

- 一、令和三年度 事業報告並びに収支決算の件
- 一、令和四年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

◆新入会員・協賛者のご紹介

当会へのご入会・ご協賛を頂きまして、まことに有り難うございます。令和三年十一月十六日から四年二月末日までのご入会の方、また会費以外にご協賛頂きました方のご芳名をご報告致します。お名前漏れ等がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

(敬称略・順不同)

新入会員のご紹介

| | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 米倉峰子 | 花輪 徹 | 生江強志 | 鈴木喜子 |
| 上原美和 | 田中秀樹 | 林智子 | 張磊 |
| 藤原興生 | 関吉弘 | 渡邊智之 | 稲垣俊彦 |
| 齋藤隆行 | 廣田麻須実 | 吉良忠誠 | 三橋忍 |
| 小松義紀 | 松浦勝人 | 毛笠史寛 | 高橋由美 |
| 吉田和弘 | 千葉貴史 | 森望 | 百瀬幸恵 |
| 丹野佳良子 | 千葉祐 | 滝沢勇 | 鶴見千佳代 |
| 黒川千弘 | 千葉多美子 | 花山幸史 | 鶴見内装 |
| 井山大豊 | 十河大悟 | 相木雅明 | 山田義勝 |
| 納谷教生 | 村田多恵子 | 鈴木常允 | 高橋信夫 |

協賛者のご紹介

- ◇**十万円**
フォービスアローズ（株） 郷六尚
- ◇**四万円**
ALSOK北海道（株）
- ◇**三万円**
新工電気（株） 古嶋清隆
ヤハラ消防設備（株）
- ◇**二万五千元**
畑井由佳
- ◇**二万円**
（株）東家寿楽 佐藤元治
ホクユウテクニカ（株） 北越孝
田中則久
- ◇**一万五千元**
駕籠寺 富山義賢
福士郁弘
唐澤俊崇
- ◇**一万円**
今井一彦
内山産業（株） 内山源造
（株）カネイ小川
小沢幸司
加藤紀恵子
川合堯夫
桜井和久
清水静
（株）高島建築設計 高島潤一
（有）津島興業 津島明美
出村左官工業（株）
（株）なかむら美巧社 中村明彦
長谷機械商事（株）
（有）北陽写真場 小田切修
北陽ビルサービス（株） 其田雅人
牧野祐子

- （株）町村農場
三上直彦
山崎新一
吉尾病院 安田昂子
（株）六花亭
（株）わかさいも本舗
西山眞吾
（株）中昭 中井昭一
越前屋薫
吉田美智子
（有）中村物流 中村紀行
（株）タイコ企画サービス 本山人
蛭天分店 八木久仁子
工藤信行
（株）裕多加ショッピング 銘酒の裕多加
熊田裕一
- 宇津野真理
沼倉雅治
中村美智子
札幌ワインマーケット（株） 中野旬太郎
三上洋右
松浦裕之
North管理企画 齊藤孝憲
内藤寛
（株）シンテック
太田元秀
瀧本貴俊
システムニーズ（株）
- ◇**八千元**
坂尻康平
- ◇**五千元**
吉川淳也
花田定男
旭川神社 芦原高穂
油井昭造
阿部裕子
石井典子
梅澤実夫
大坂輝子
太田秀造

- 覚幸龍一
（株）加藤産館 加藤俊郎
寺島博美
河合伸子
河原清光
踊翠流剣詩舞総本部 菊池哲子
（株）五勝手屋本舗
駒野幸一
紫藤正行
渋谷ネーム工芸 澁谷十九男
庄内喜久子
（有）女子道社
鈴木憲治
瀬戸松一
中能雅和
中屋敷左官工業（株）
中山ミシン商事（株） 中山菊雄
新潟正
一燈園 西田武
平山晃也
深尾喜陸
福園敏行
細川昌延
北海道電子機器（株）
三上陵逸
（医）宮の森皮膚科
森越正弘
山本巖
山本晃靖
山本内科眼科クリニック 山本秀樹
横山公子
吉岡砕石工業（株）
吉村邦子
米田光秀
（公）若駒 櫻井慶一
玉置重俊
對馬眞智子
渡邊靖司
かわむら齒科クリニック 川村裕司
津川由美子
村本和正

- 沖田善輝
松本武志
（医）西野おおくは整形外科 大久保隆夫
後藤淳子
鷺原壽文
齋藤貞夫
佐藤秀樹
藤江岩男
（株）シグナル 赤沼泰弘
下前良
市山義晴
藤田勝也
金野イシ
河井博
高梨削蹄 高梨桂二
（有）大関調剤 大関博敬
大黒恵美子
齊藤寧・久美子
安川哲夫
山崎勝
市橋武道
寺島典男
（有）ココウエスト 大西仁詩
小川武雄
渡辺臣明
鳥居幸子
庄田澄子
真田修一
遠田深雪
千葉時代
盛まなみ
佐藤清
丹羽力
坂本和也
吉田光臣
長尾恵美子
有我充人
（株）シテイプラザプランニング 生方淳
松村将之
伊藤啓二
宮治理陽

アミーケ・インターナショナル（株）
伊藤浩樹

- 岩間久美子
豊田敏志
刈田グリーン（株） 刈田信子
高取由季
小竹ともこ
樋口未来
野口智史
米沢美和子
松浦宗信
松本哲也
日比野貴樹
伊東裕司
長井力
二瓶日出司
大関宏典
松井裕二
矢野美紀
- ◇**四千元**
湊堅治
- ◇**三千元他**
朝倉英隆
東重孝
猪狩金次郎
板垣庄一
（株）コウキ 板垣光夫
大関雅朗
小野まき子
（株）五英商事
佐々木都紀子
神忠弘
杉本昌三
杉山陽子
萩野隆章
高橋忠良
滝口伸一
武田美奈子
中嶋夫美子
縄健一

- 畠山徳治
（株）バンテック
平賀祐子
平間美枝
藤田民子
藤野喜久男
馬酔木洋子
水上信吉
鍾水博樹
鈴木良江
中塚秀人
薄田治夫
長谷部克哉
佐藤勇
木澤季之
関口フミ子
宮下奈巳
中西昭弘
妻木悦朗
勝浦栄子
長田博
永森奨樹
金野シゲ子
齋藤恭令
工藤政宣
三上政輝
佐藤久直
栗田勝
松川伸一
久保純
菅原浩了
前田憲太郎
後藤彰
田中欽
星野通孝
福島康弘
佐藤博雅
早坂聡
今川昌樹
岩間邦子
岡川一

- （株）君津特殊
久保幸子
佐々木真次
佐藤良子
田中美知子
鶴戸晏子
寺井伸
西田善彦
浜口武
堀江正一
松野敏昌
（株）まるいち 齋藤友子
（株）丸成大向建設 向井一朗
丸ヨ不動産（株） 帯向忠博
三浦清志
森分一成
阿部真澄
（税）さつばろ税務会計 阿部真澄
藤井一徳
澤内公
武田美喜男
木村美智子
西野浩
花本政則
中田克幸
佐藤睦子
中川設計房 中川義規
高田博
丹野幸夫
鶴田みゆき
中村理
堀米裕二
大谷国男
佐々木幸
菅原政輝
香川睦美
（有）フアインテクノ 喻良二
多田洋子
多田良子
辻祐二
中居毅

- 中村康
西良子
中道和巳
（有）アメリカンホームズコンストラクション 山田裕一
久保田眞理子
藤本桂
内田昇
仁科啓孝
鈴木伸浩
村田賢
金坂孝敏
久保剛
南部士郎
小山内清
藤原嗣允
藤島邦洋
伊藤勇一
齊藤慎太郎
梶田宏一
宮田恵一
宮田香
坂尾晃司
武田勇助
河智晃
齊藤啓太
今野豊
鐘信弘
安部布実子
前田生馬
武内秀介
宮村謙一郎
（株）アムールラスト 大谷柁洋
熊木政証
平満允
伊原裕
田中秀明
阿部祐治
小山まりえ
檜原元・なつき